

神谷小学校区タウンミーティング議事録

開催日：平成 30 年 8 月 7 日（火）13 時 30 分～

場 所：本庁舎第 3 会議室

- 1 市長挨拶
- 2 市側及び区側出席者紹介
- 3 市政情報のご案内
 - ①いきいきいばらきゆめ国体開催について
 - ②風水害や土砂災害に備えて一自らの命、家族の命を守るために一
 - ③市民満足度調査結果
 - ④ブロック塀の安全点検

栄東：風水害や土砂災害に備えてということで説明を受けたが、その中で家の周囲の側溝や排水溝は、掃除して水はけを良くするとあった。栄東のところで、蓮根屋の下の所から牛久一中の後ろの所に沿って、柏田川に流れる側溝があるが、これの管理は近くに住んでいるものがやるのか、市がやるのか。今までは、駅の東の方から水が流れてあふれるような状況があったが、一昨年の工事後は、溢れることがなかったが、今度、かわはら台自治会の水が溢れるという事で、工事を先般されて、その排水がその側溝に入る。側溝の掃除は、結構深いこともあり我々がやるということになると難しいのではないかと思う。我々も一度も清掃をしたことがない。この辺の取り扱いをどうするのかお聞きしたい。

市民部長：側溝やグレーチングの掃除をしていただきたいのは、ご自宅の前や、気が付いた所をやっていただければありがたいということ。用水路については市の管理であるので、必要であれば市で実施する。

栄東：そこは藪で隠れている状況であるので、とても我々ではできない。市の方の管理であれば、是非、側溝の回りと側溝の清掃をやっていただきたいと思う。

建設部長：ご自宅の周辺についてはご協力をいただき少しでも水はけをよくしていただきたい。牛久一中脇の水路について、牛久市が管理をしているので、定期的に巡回をしたりして管理をしていく。

女化西：牛久市のハザードマップは、どのような形で作られて公表しているか。インターネットだけでしょうか。

市民部長：ハザードマップについては、ホームページで公表している。以前各行政区にお配りしたという経緯があるが、今はホームページで閲覧できる状況となっているので、そちらで、見ていただきたい。

女化西：ホームページで見たのですが分かりづらい、もう少し分かり易く出来ないか。

市民部長：こちらの方で少し検討させていただきたい。

4 行政区の意見等話し合い

栄東：栄東としては、3項目出させていただいた。

まず1点目は、神谷小学校の通学路、蓮根屋からは行って行って栄町保育所に行くところですが、ここについては、道路が拡張されて歩道ができることで、説明をいただいて、測量にも入っていると、きいている。具体的なスケジュールが、どのように進んでいくのかお教えいただきたい。それに関して、道路にはマークが3種類ついており、白いマークに真ん中に鋸があるもの、赤いプラスチックに鋸を打っているもの、四角で牛久市と刻印されているものの3種類の表示があるが、その違いをお教えいただきたい。

2番目として、栄町保育園のところ、小学校に向かって左側の畑の一部分が狭い。何回もお答えをいただいているが、出来るだけ早く歩道が出来る様をお願いしたい。

3つ目ですが、ミニゴルフの所から、金乃台の方に行く道路が、交通量が多い、この道路が、道路標識、制限標識がないので、制限速度を表示したものをいれてほしい。

以上3点を栄東としてはお願いしたい。

建設部長：1013号線に関して、まず具体的なスケジュールですが、現在の状況としては、昨年度から実施していた測量設計は土地所有者と交渉しながら間もなく完了する。これを完了してから設計と道路幅を確定させ、引き続き用地のご協力をいただく。ここにある物件関係でかかるものについての調査、土地を取得するための鑑定を実施した後、今年度用地の取得にも入っていきたいと考えている。具体的なスケジュールについては、確かな事は言えないが、国の交付金を使ってこの事業を進めていく。何年という話では、なかなか言いづらいところではありますが、今年度をふくめて、土地の取得、補償、工事をできれば4年ぐら이를目安にやっていきたいと考えている。しかし交付金の付きが最近悪いという状況があるので、事業期間が延びるという事も想定される。条件がついてしまいますが、そのような目安をもって事業を進めていきたい。現地にある、牛久市のマークが入った鋸については、現在の道路の境界は、牛久市のマークのはいった赤いピンや赤い杭が、道路の現在の杭になる。道路を測量するために基準点として現地に落としていくものが白いピンとなる。道路を今回拡張するが、拡張する新しい道路境界が赤いピンになる。栄町保育園の未整備区間について、地主さんとの協議をしている。先ほどの蓮根屋から入った通りも事業をやっているの、そちらの事業をあわせて粘り強く交渉をしていく。

市民部長：道路の速度規制について、速度規制の標識については県の公安委員会の所管となっているので、警察を通じて市の方から要望をあげたいと思う。

神谷：あいさつ通りの道路の拡張ということで、29年の9月からこの事業をスタートしてもらっているが、できればおおよそ、何年ぐらいをかけて完成するかという目安を教えてください。栄町保育園の脇の畑の所有者と交渉する予定があれば、いつ頃交渉するのか教えていただきたい。

学校運営協議会ということで、神谷小学校区に絡む、3つの学校、神谷小学校、牛久第一中学校、牛久南中学校における学校運営協議会の設置と、できればそれぞれの中学校の校長さんが考えているランドデザインなどを教えてください。

建設部長：あいさつ通りの1013号線について、今、測量設計をやっており、間もなくこちらも確定させていただいて、補償積算や不動産鑑定などをこの後実施して、一部今年度から土地の取得についても現地の方には行っていきたい。この先、やはり長い路線であり、土地の取得、あわせて補償物件がございいます。そのようなことをやりながら、土地の取得と併せて、ある程度区間がまとまったら工事に入っていきたい。工事にはいるにあたり、皆さんにご迷惑をおかけすることもあると思いますが、通り抜けできる道、交差点等を確認しながら行っていきたいと思う。完成の目処については4年を一つの目処にやっていきたい。ただし、国の交付金を活用してやっている事業であるので、交付金がなかなか付かないというのがここ数年間ある。できるだけ早期に完成できるようにやっていきたい。

保育所の地権者さんとの交渉については、これまでも、先月も、何度かお邪魔させていただいた。まだ合意にはいたっていないので、今月、お盆が過ぎてからまた訪問させていただき、粘り強く交渉させていただきたいと考えている。

教育長：神谷小、牛久一中、牛久南中の子ども達なんですけど、区長さんにはお世話になっております。数年前から中学校にはなるべく地域に出て行ってね、とお願いしている。特に区長さんには出て行ってね、とお願いしてきた。小学校については、なるべく地域に力を貸してもらってね、ということで地域の方々に学校に入ってもらうようお願いしてきた。神谷小の校長先生がいい事を言いまして、地域は土だ、校長は風だと、校長は3、4年で過ぎ去ってってしまうが、地域はずっと残るので、そのような方々に子育てを手伝ってもらおうと、子ども達には本当にいい教育ができると言っていた。地域と一緒に関わることによって、自分が人の役に立っているなという気持ちになったり、勉強するっていうのはこういう意味があるんだ、ということが分かる。学力が高められるだろうし、自己有用感、役立っているという気持ちが地域で関わることで高まってくる。将来子ども達は、牛久がいいと、この地域がいいから戻ってこようという、そんな子ども達が育ってくればということで、コミュニティスクールをしている。今までは学校の意見を聞いてアドバイスをするだけでしたが、これからは一緒に学校を作ってもらいたいなと思っている。例えば先生の残業ですが、牛久一中の先生たちの6月の残業は平均112時間、牛久南中は94時間、神谷小は60時間であった。今まではこんな遅

くまで何をやっているか分からなかったが、こういうことを良く解ってもらって、学校の先生方の困り感をわかってもらったり、地域にお手伝いしてもらいたいことを語り合いながら子供を育てるということをしている。牛久一中では一年生は全員、区長さんの所に行っていると思う。そして地域で私たちに何ができるかを聞いて、地域に貢献しながら、子どもたちは学んでいる。2年生は職場体験をやっているのだが、今年は、牛久一中の保護者のコミュニティの皆さんが、牛久一中の中だけで、職場体験の職場を全部見つけてくれまして、牛久一中の二年生はそのおかげで、地域で夏休み職場体験をすることになった。牛久一中は10月には、地域と一緒に防災訓練をやることになっているが、地域で助けてもらうだけでなく、自分が地域の一人として、いざという時は助けるということ学ばせてもらえるとうことを聞きました。神谷小は実際に授業を見てもらったりしながら、本当に先生が困っている状況を見てもらったり、何か助けてもらえる事はないかと一緒に話し合ったり、登下校の見守りをやっていただきながら、本当に校長先生は先生方と同じレベルで運営協議会の皆さんを考えている。一緒に子どもの困り感を分かち合い、一緒に子ども達を育てて行きたい。自分が退職しても、この思いを地域の人達に伝えていって子育てをしてもらいたいという想いで進めている。南中も今年度末に同じような形で、進めていきたいと思っている。なるべく中学生は地域と共に、小学生は地域の方にはいってもらいながら、一緒に育てながら、これからの子ども達を共に汗しながら育てていっていただいて、確かな力をつけて、学びに行ったものをしっかり身に付けながら、学んでいけるような子供たちを育てていきたい、ということを進めていっている。具体的なグランドデザインとしては、神谷小は、未来をたくましく生きぬく力をもった児童の育成、具体的には、チャレンジしてやり抜く力、支え合って学ぶ力、人を大切に作る力ということを育てようとし、様々な取り組みをしている。牛久一中は、夢や目標をもち生き生きと学ぶ生徒の育成、具体的には、職場体験、地域貢献活動、防災訓練などをお願いしている。南中は、よさを認め合い、発揮し合うことで一人一人が輝く、潤いと感動のある学校生活の創造、ということで、具体的には、花壇のお手伝いとか不登校の支援、障害を持った子の支援などをお願いしたいということで進めている。先日も、南中は大きな工事が入っており、図書室の本を移動しないといけないということで、地域の人に入ってもらって移動をしてもらった。それぞれの学校のビジョンがありますので、そのビジョンの達成のために地域の力をお借りしたい。

かわはら台：かわはら台としては、2つの要望を出させていただいた。一つは、ふれあい通りの街路樹と防犯灯について、枝払いは定期的に行っているのだが、ユリの木であり、非常に大きく、葉っぱも大きく、伸びも早い、枝も折れやすいというのがあり、遮光してしまう。毎週水曜日に7時から防犯パトロールで歩いているが、街路樹のところで、外灯がついているのかついていないのかわからない状態である。それでは

困るということで、7月初めに出しましたら、即切ってもらった。それで終わりではなく、次に伺ったときには、今度は剪定範囲を広げて実施する、樹形より安全安心を優先して枝払いをしますということを担当者からお答えいただき、大変ありがたく、嬉しく思いました。今も伸びてしまって、下の方が見えない状況である。先ほども、満足度調査でもっと充実してほしいと感じている施策のトップに、夜間や人通りのいない地域における安全を確保するというのが、なっておりますが、外灯が外灯の役目を果たして、初めて夜間の安全が確保されると考えます。指摘しましたユリの木が大きく、葉っぱも大きいので、できるだけ早く、担当者からもいただいているように、樹形よりも、外灯から1メートル以上上からの枝払いをお願いしたい。あの通りは通勤通学、ジョギングや散歩をするなど人通りはかなりあるので、早急にそちらの方をお願いしたい。

2番目は、道路上に大きくせり出した木についての条例の設置を要望しますということをお願いした。条例となると、なかなか難しいとは思いますが、できるだけ、条例とまではいなくても、そこをうまく取り組み解決したというような、他の市町村の事案があれば提供していただきたいと思う。かわはら台の状況ですが、クリーン作戦があり、そのときに班長さんが、自分の家の近くのお宅の方に、お宅の木がひどいので、班内でもお手伝いしますので、一緒にやりましょうと、根気強く呼びかけてくださった。そうしましたところ、2軒で実施し、1軒は朝8時から午後2時過ぎ、もう1軒も、同じくらいやって、また翌日も午後1時ぐらいまでかかった。そのおかげで、本当に綺麗になった。1軒は50数袋出たが、袋は自治会で提供させていただき、市の環境の方で処分していただいた。ありがたいご支援をいただいて、おかげさまで2軒は非常にすっきりした。地権者の方には、これからはこまめに小さいうちに切ってくださいねと付け加えて、今も気持ちよく過ごしている状態である。ただ、1軒だけは聞いてもらえず、業者さんをお願いしないとだめという状況である。そこは何度自治会で協力するから、といっても非常に頑なな方なのか、自分でやりたいという方で、なかなか応じてくれない。今も林のようにかわはら台の中に存在している。したがって、ハクビシンも住んで居ながらにして、出入りしている状況である。そういったところの解決策として何かないかなと思い、条例ということを考えた。条例もなかなか難しいと思いますので、先ほど申し上げた通り、近隣でこのような方法をとったら効き目があったというような、事案があれば情報収集の上、お伝えいただきたい。

最後に、前回のタウンミーティングの際に、スクールゾーンを道路に設置して欲しいという要望をしたところ、早速、設置していただきありがとうございました。

建設部長：かわはら台の植樹の伐採の件、定期的に街路樹の選定をやらせて頂いており、前回ご意見をいただいて、強剪定という形でやらせていただいた。先ほどご意見のなかに、防犯灯よりも高く大きく、現在は下枝が伸びてきたということがございました。現地を区長さんと立ち合いいただきながらやっていきたい。

市長：牛久の安心安全のまちづくりということで、防犯灯についてでていた。また、意見で

多いのが防犯カメラである。今回、市では4台の防犯カメラを設置する予定がある。1台が100万するというので、非常に高価なものであり、主要箇所にて全というのなかなか時間がかかるものである。ただ、少しでも多くできないかと話をし、出来る限り増やしてやりたい。外灯、防犯カメラは安全安心のまちづくりに寄与するものであるので、速やかに対応したいと思っている。

もう一つ、防災無線で早く帰りましょうというアナウンスをするが、この声を子ども達の声でやった方がいいのではないかと、その方がしみじみするのではないかと意見があり、9月からやろうと思う。このように出来ることがあればどんどんすぐにやっていこうと思うので、そのような面でも、皆様からご指摘いただければありがたい。

女化：今回は何も意見はないが、交差点に水がたまる、通学路に木がはみ出ている、信号の時間が短いなど、色々な意見が私のところにもくるのですが、前、通学路に水がたまり、歩行困難であるということで、市に頼みましたらすぐに対応してくれた。そのような対応をしてくれましたので、雨が降れば水がたまるということは普通の生活の事であり、木が通学路の脇にあればいくらか伸びるというのも自然なことであり、そのようなことをいちいち取り上げてやるのもなんだかなと思っている。そのような意見が出た場合には、雨が降った日に見に行き、また、孫が通っているの意見も聞いて、いちいち取り上げない様になっている。通学路で木がでてきているのも、たくさんでているのが、私たちは区では、こさばらいというのがあり、女化の通学路は3キロから4キロあり、やろうと思えばいくらかもあるが、でているところを班の人にチェックしていただいた。女化はみんな昔から住んでいる人ですので、この木は誰の木か大抵分かる。その人の了承を得て、みんなで刈るようにしている。なんでもかんでもやってもらうというのではなく、出来ることは自分達でやろうというのが自分の方針。女化運動広場で、一人入っていけないところから入って転んで区に文句を言って、簡単な階段をつくったことがあったが、これもまたおかしな話で、降りる所ではなく、気を付けて降りる問題だと思う。幼稚園のサッカー教室をやっているのだが、こういういい環境でやっているですねとコーチに言ったところ、コーチがこういういい芝生のところで、サッカーをやっていると、小学校、中学校に行くと、土のグラウンドになって、なんだ、こんなグラウンドでサッカーやるのかという、そういう考えになるのが怖いと言っていた。私はもっともな意見だと思った。自分でやれることは自分でやろうという方針でやる。ただ、なにもやらないという訳にもいかないの、何か考えておきます。

女化西：1番目の通勤ライナーに関しては、この旨を再度お伝えして、よりよい利用者が増える方法を検討していただきたいと思う。

2番目の行政区内の公園の看板について、行政区内での避難訓練等でも公園を利用していることもあり、早急に対応していただきたいと思う。

3 番目の通学時の安全を守るための車の速度規制について、神谷小学校の前の通学路、神谷小学校の所から坂を下ったところがちょうど女化西で、防犯のパトロールの方が立って子どもたちを渡して下さっているところなのですが、坂を下って登るところで加速するというので、以前から危険性を感じているところである。団地内に歩道があるわけではないので、その中でスピードを出している車があり、目にあまる状況であるので、警察にもう一度掛け合っていただきたいと思う。

4 番目の避難所訓練につきまして、自主防災は、それぞれの区によって違うと思いますので、今後よく相談させていただいて、女化西が牛久市と同じ歩調になるように取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご協力お願いします。

5 番目の、行政区内のゴミ収集場所の管理が自治会では難しいということについて、アパートがあると、自治会に未加入ということで、周知徹底がなかなかできないということがある。今回1件アパートの管理している不動産屋さんと話ができ、ゴミ集積場所を設置していただいて、1カ所は解決した。これも牛久市と相談して進めさせていただいた。今後も相談して進めていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

6 番目の女化街道から女化西区の進入路の案内について、女化西区は中にはいっているのですが、選挙の時には案内看板があるが、日頃は女化西区という看板はない。女化と女化西とあるので、道案内するにも不便であるので、前向きに検討していただければ助かります。

今後も、行政区もできる所はやっていきたいと思っておりますが、協力して頂けるところ、またご相談のっていただけたら、よろしくお願ひします。

15時15分閉会